



1 単元(題材)名

校外学習に向けて

2 単元(題材)の目標

- ・校外学習の見通しをもつことができる。(知識及び技能)
- ・相手のことを考え、行動に移そうとする。(思考力・判断力・表現力等)
- ・積極的に活動に参加し、コミュニケーションをとろうとする。(学びに向かう力・人間性等)

3 単元の評価規準

項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の使い方やルールやマナーについて知ることができる。 ・校外学習での1日の流れをつかむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人を意識して行動する意識をもつことができる。 ・自分に与えられた役割を確認し、見通しをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組むようとする。 ・校外学習に前向きに取り組むようとする。

4 指導観

(1) この単元(題材)の扱いについて「単元観」

心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	コミュニケーション
(2)状況の理解と変化に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> (1)他者とのかかわりの基礎に関すること。 (2)他者の意図や感情の理解に関すること。 	<ul style="list-style-type: none"> (4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。 (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 (5)状況に応じたコミュニケーションに関すること

本単元「校外学習に向けて」は上記を踏まえ設定した。

本校の第一学年では、2月5日に校外学習で調布市内巡りを実施する。その際に、自分たちが安心して活動できるよう、校外学習で起こりうる出来事を予測し、見通しをもって行動できるようにする。電車を利用して行動することがあるため、それに先駆けて、公共交通機関ルールやマナーを確認する。これらを学ぶことから他人への配慮等、集団生活において必要なコミュニケーションも併せて学んでいく。しおりの読み合わせも行い、一日の見通しをもたせることで、安心して校外学習に取り組めるようになる。また、グループ内での担当係の仕事内容の把握等も行うことで、班への帰属意識を高めたり、必要とされていることを実感できるようにする。

(2) 生徒の実態について「生徒観」

このグループは自閉症、ADHD、LDなど多様な障害をもっている生徒が在籍する。また、1月よりメンバーの入れ替えを行なったため、このメンバーでの小集団指導の経験は浅い。小集団7人のうち、3人が電車やバスを利用し、登校している。また、校内にも電車やバスで登校している生徒が多く、普段から電車でのルールやマナーについて話が上がっている。

Aさんは、理解力があり、学びへの意欲は高い。しかし、自分が理解できないことがあると、話の途中でも質問をしたり、納得できないことがあると手足を大きく動かすことがある。また、未習の知識が出てくると、時や場所を選ばず、繰り返し理由を聞いてくる様子も見られる。この学習では、ルールやマナーを一通り理解し、自分がその状況になった際にも安心して行動することができるようにする。

Bさんは、登校の際にバスと電車を使い通学している。マナーやルールに対してもしっかり考えることができ、周りへの配慮についても理解することができる。しかし、実際の場面とそれらの知識を結びつけることができず、行動に移す場面は少ない。この学習では、自分の行動がルールやマナーに伴っているのかを振り返り、普段の生活でも意識していけるようにする。

Cさんは、落ち着いて授業を受けることが難しく、できないことがあるとプリントを破ったり、捨ててしまうことがある。また、書字に苦手意識があり、合理的配慮でiPadの使用が許可されているが、使い切れていない様子である。この学習では、学校外に出て活動する際に必要な事項を学び、他人の感情に目を向けることが必要であることを学べるようにする。さらに、グループ活動で相手の話を落ち着いて聞くことができるよう、声掛けを行う。

Dさんは、小集団の活動に前向きな姿勢で取り組んでいる。時間の管理が苦手であり、朝遅刻してくることも多い。この学習では、ルールやマナーを知るだけでなく、事前に考えることの大切さを学ぶ必要がある。また、多様な人との関わりの中で、さらに円滑なコミュニケーションをとることを目指す。

Eさんは、登校の際に電車を使い通学している。内容を理解して、質問等もすることができる。最近では小集団に慣れてきたこともあり、発言回数も増え、表情も豊かになってきている。この学習では、ルールやマナーがなぜ大切なのかまで深く学び、普段の生活に生かしていけるようにする。更に、電車が好きであることを生かして、積極的に授業に参加させ、学習の意欲を高められるようにする。

Fさんは、昨年10月1日より入級している。学校登校の際にはバスを使用し、通学している。意見の書き始めは遅いが、内容や意見は適切に答えることができる。しかし、人とコミュニケーションを取ることに不安を感じている様子が見られる。小集団では、同級生とかかわる機会を設け、同じ場で過ごすことや、会話をするのに慣れる必要がある。

Gさんは、昨年10月1日より入級したが、意見を言ったり、他者の意見に対して同調する発言をするなど、授業に積極的に参加している。周りの様子を見たり感じたりすることに苦手さがあるが、話をすれば理解し行動に移そうとする。この学習では、ルールやマナーを知識として得ることが重要にある。校外学習での戸惑いを減らすためにも、繰り返し内容を復習することが必要である。

(3) 教材の活用について「教材観」

公共交通機関の使い方では、使用する際の注意事項やルール・マナーについて学ぶ。見通しを立てて行動することが苦手な生徒も多いので、事前の準備や確認事項も写真等でイメージをもたせながら学習する。それにより、先の見通しをもちながら、生徒が安心して校外学習に行くことができる。また、校外学習の班活動を意識し、授業の中でもグループ活動を取り入れ、他者とコミュニケーションをとる場を設定する。生徒同士の関わりの中で、自分の考えを伝えたり、他者の意見を受け入れることを学んでいく。

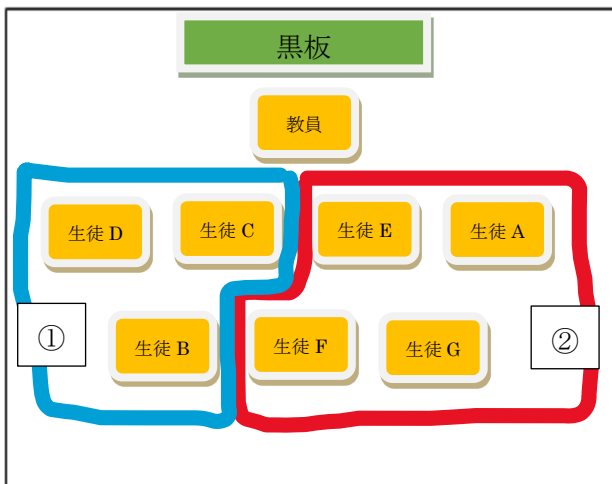
5 年間計画における位置づけ

2月5日に調布市内巡りが行われるため、安心して活動に臨めるよう設定した。二学期には時間計算の授業を行っており、物事を行う上で準備が必要なこと、それには時間がかかることを学んでいる。また、次週には校外学習での『こんなときどうする』や『しおりの読み合わせ』を行う。これらを通し、校外学習に見通しをもって取り組めるよう、授業を展開していく。

6 単元(題材)の指導計画と評価計画(全1/2時間)

時	ねらい	学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)
1 本 時	公共交通機関の使い方やルール・マナーを知ろう。	○公共機関の利用の際の注意事項を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーが必要であること理解することができる。(プリント・観察) ・周囲の様子を見て、他者に配慮した行動をとる必要があることがわかる。(プリント) ・授業に積極的に参加しようとしている。(観察)
2	校外学習の流れを確認しよう。	○しおりの読み合わせをし、見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れを知り、見通しをもつことができる。(観察) ・自分の役割を認識し、仕事内容を理解することができる。(観察)

7 配置図



8 指導にあたって(指導の工夫)

○時系列を意識した説明を行う。

校外学習で使用することを念頭に、実際に行動する際にも思い返しやすくするため、乗車する前・する時・乗った後等、時系列に説明することで、イメージを湧きやすくする。

○KJ法を用い、グループ活動を行う。

自分の意見を付箋に書くだけでなく、グループで共有する機会を作る。個人の時間も取れることや、話し合いではなく意見共有にすることで、通常の話し合い活動より簡単にグループでコミュニケーションをとれる状況を作る。また、自分の意見だけでなく他人の意見を知ること、より学びを深めることができる。

9 本時（1/2時間扱い）

(1) 本時の目標

- ・ルールやマナーが必要であること理解することができる。(知識及び技能)
- ・周囲の様子を見て、他者に配慮した行動をとる必要があることがわかる。(思考力・判断力・表現力等)
- ・授業に積極的に参加しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 本時の展開(全2時間中の1時)

時間	主な学習活動・内容	指導上の留意・配慮事項	★評価	・個別の支援計画 ☆評価			
				A	B	C	D
導入 3分	○学習の流れ確認 ①接続詞トーク ②公共交通機関の使い方 やルール・マナー	・全員で確認することで授業の見通しをもたせる。					
展開 42分 [7] [35] 3	①接続詞トーク 《めあて》 接続詞を適切に用いて、みんなで話をつなげる。 ・4枚配布し、その中から内容に応じて3枚選択する。 ②公共交通機関の使い方 ・公共交通機関とは	最後まで4枚持って選びながら進めてもよいことを伝える。 ・自分だけでなく様々な人が使っている場所であることを認識、意識させる。 ・公共交通機関の中でも使用頻度の高い、バスや電車を詳しく取	★積極的にコミュニケーションをとろうとしている。 (観察)	・話の途中で質問されても、最後まで話を聞くように言う。	・なるべく端的に話せるよう声掛けを行う。	・接続詞の意味を考えるよう声掛けを行う。	・練習試合等で使用した経験がないか聞く。

5	<p>・バスや電車のルールやマナーを書く。(KJ法)</p> <p>①個人 付箋1つにつき1つのルールやマナーを書く。</p>	<p>り上げることを伝える。</p> <p>・手本として『電車内の化粧はマナー違反』『バスから降りるときは降りるボタンを押す』と付箋に書き、活動のイメージを沸かせる。</p> <p>・地域によってルールが異なることを伝える。</p> <p>・なるべくたくさん書くよう声掛けをする。</p> <p>・かけない生徒にはスライドの絵を参考にしよう伝える。</p>			<p>・普段気をつけていることを聞く。</p>	<p>・大きめの付箋を用意しておく。</p> <p>・長い文章ではなく、キーワードでもよいことを伝える。</p>	
7	<p>②グループ 3～4人1組に分かれて、自分の書いたもの発表し、同じような意見をまとめる。(グルーピング)</p>	<p>・グループのメンバーを視覚化する。</p> <p>・通学に公共交通機関を使っている人をあらかじめ配慮し、グループ分けを行っておく。</p>	<p>★積極的にコミュニケーションをとろうとしている。(観察)</p>	<p>・注意事項を目に見えるところに移して置き、注意するよう伝える。</p>			
2	<p>・マナーアンケート</p>	<p>・他の人から見られているということを認</p>					

<p>4</p>	<p>・事前準備 ①目的地の確認 ②時間の確認 ③お金の確認</p>	<p>識させる。 ・マナーやルールを知ること、自分も安心して使えるようになることを伝える。</p>			<p>・実際にできているのか振り返るように声掛けを行う。</p>		<p>・何を準備したらいいのか聞く。</p>
<p>3</p>	<p>・現地での確認 時刻表 表示の見方</p>					<p>・注目ポイントを聞く。(授業に注意を向ける)</p>	
<p>4</p>	<p>・乗車時の確認(マナー) ①分散乗車 ②乗降口には止まらない ③荷物の置き方 ④座席の座り方 ⑤飲食</p>	<p>・時系列に並べ実際の行動に照らし合わせやすくする。</p>		<p>・大きな声を出してしまうときは、『話をしている時は静かに話を聞く』というルールを思い出させる。</p>			
<p>4</p>	<p>ルール・マナーの確認</p>	<p>・いくつかのイラストを見せ、何が迷惑になっているのか全体で確認する。</p>				<p>★最後まで、落ち着いて授業に取り組むことができる。(観察)</p>	
<p>3</p>	<p>・心温まる行為</p>	<p>・エピソードをいくつか紹介する。</p>	<p>★他者に配慮した行動をとる必要が</p>				

		・周りを見て行動すると自分も相手も温かい気持ちになることに触れる。	あることがわかる。(観察)				
まとめ 5分	・振り返り	・落ち着いて学習を振り返る空間をつくる。 ・KJ法で作成したシートを見返すように伝える。 ・時間があれば、グループで共有する。	★ルールやマナーが必要であることが理解することができる。(プリント)	★様々なルールやマナーがあることを知ることができる(プリント)	★ルールやマナーについて考え、自分の行動を振り返ることができる。(プリント)	・短くても何か書くように伝える。	★事前の準備で、何をしなくてはならないのかを理解することができる。(観察、プリント)

時間	主な学習活動・内容	指導上の留意・配慮事項	★評価	・個別の支援計画 ☆評価		
				E	F	G
導入 3分	○学習の流れ確認 ①接続詞トーク ②公共交通機関の使い方やルール・マナー	・全員で確認することで授業の見通しをもたせる。				
展開 42分 [7]	①接続詞トーク 《めあて》 接続詞を適切に用いて、みんなで話をつなげる。 ・4枚配布し、その中から内容に応じて3枚選択する。	最後まで4枚持って選びながら進めてもよいことを伝える。	★積極的にコミュニケーションをとろうとしている。(観察)		・自信をもって答えるよう伝える。	・相手の文をよく聞いて、つながる文章を意識させる。
[33] 3	②公共交通機関の使い方 ・公共交通機関とは	・自分だけでなく様々な人が使っている場				

5	<p>・バスや電車のルールやマナーを書く。(KJ法)</p> <p>①個人 付箋1つにつき1つのルールやマナーを書く。</p>	<p>所であることを認識、意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の中でも使用頻度の高い、バスや電車を詳しく取り上げることを伝える。 ・手本として『電車内の化粧はマナー違反』『バスから降りるときは降りるボタンを押す』と付箋に書き、活動のイメージを沸かせる。 ・地域によってルールが異なることを伝える。 ・なるべくたくさん書くよう声掛けをする。 ・かけない生徒にはスライドの絵を参考にするよう伝える。 		<p>・普段気をつけていることを聞く。</p>		<p>・普段気をつけていることを聞く。</p>
7	<p>②グループ 3～4人1組に分かれて、自分の書いたものの発表し、同じような意見をまとめる。(グルーピング)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのメンバーを視覚化する。 ・通学公共交通機関を使っている人をあらかじめ配慮し、グル 	<p>★積極的にコミュニケーションをとろうとしている。(観察)</p>		<p>★自分の思ったことを、相手に話すことができる。(観察)</p>	

2	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーアンケート 	<p>ープ分けを行っておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人から見られているということを認識させる。 ・マナーやルールを知ること、自分も安心して使えるようになることを伝える。 				
4	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 ①目的地の確認 ②時間の確認 ③お金の確認 					
3	<ul style="list-style-type: none"> ・現地での確認 <p>時刻表 表示の見方</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・表示の注目点を聞き、全体に発言させる。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車時の確認(マナー) ①分散乗車 ②乗降口には止まらない ③荷物の置き方 ④座席の座り方 ⑤飲食 	<ul style="list-style-type: none"> ・時系列に並べ実際の行動に照らし合わせやすくする。 				
4	<ul style="list-style-type: none"> ルール・マナー確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかのイラスト 	<ul style="list-style-type: none"> ★他者に配慮した行動をとる必要が 			<ul style="list-style-type: none"> ★マナーを知り、相手を思いやる気持ちを学ぶ。(プ

3	<ul style="list-style-type: none"> 心温まる行為 	<p>ってしまっているのか全体で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> エピソードをいくつか紹介する。 周りを見て行動すると自分も相手も温かい気持ちになることに触れる。 	<p>あることがわかる。(観察)</p>			<p>プリント)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> 振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて学習を振り返る空間をつくる。 KJ法で作成したシートを見返すように伝える。 時間があれば、グループで共有する。 	<p>★ルールやマナーが必要であること 理解することができる。(プリント)</p>	<p>★周囲の様子を見て、自分の行動を選択する必要があることを知ることができる。(プリント)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 枠に収めて書くよう伝える。 	

(3) 板書計画



(4) 授業観察の視点

- グループ活動で生徒が積極的に活動しているか。
- 生徒同士で関わる場面や生徒の発言等、生徒の主体的な考えから、授業を展開しているか。
- 発問や指示が端的で分かりやすいか。(生徒に伝わっているか。)